

未来寺子屋

ミラ
テラ

3

かわらばん



10月24日土曜日の午前、本證寺本堂で、今年度3回目の「まちづくりイノベーションスクール@安城 2020 未来寺子屋」を開催しました。この日の参加者は、市民や事務局スタッフも含めて17人でした。

この日も、はじめにご住職からお話をいただいたあと、今年度みんなで取り組む活動と秋の本證寺マルシェ『きょうえんいち』に向けて、全員で輪になって話し合いました。

みんなDEひとつプロジェクト&秋のきょうえんいちに向けて

1

おはなし

「万山薬草」

お釈迦様の時代、名医として知られた耆婆（ぎば）という人がいます。この方は、医者を目指す前にお釈迦様と出会い、「私は医者を目指しています。どうしたらよいでしょうか。」と聞きました。すると、お釈迦様は小高い山を指して「あの山に入って薬にならない草を1つでも見つけて来ることができたなら、素晴らしい医者になれるだろう」と言いました。そこで耆婆は、その草を探し求めて山に入り何日も何日も探しました。そしてある日、耆婆がお釈迦様の前に来てこう言います。「お釈迦様、この山に薬にならない草は1つありませんでした」と。そこで、お釈迦様は言います。「お前はこれで素晴らしい医者になることは間違いないだろう。万山薬草。この山の中に薬にならないものは何一つないと知ったんだ」と。

私達は「あんな人さえいなければなあ」とか、「こんなことさえなければなあ」などと思いがちですが、嫌な人も好きな人も、病気も健康も、ありとあらゆるものが薬草。宝にならないものはこの世の中に何一つない。それを私達はいただいている。それが智慧（ちえ）なんだと、お釈迦様は教えてくださっています。



本證寺 小山住職

2

全体トーク①「続！みんなDEひとつプロジェクト」

前回に引き続き、今年度みんなで取り組む活動について話し合いました。

案内看板づくり

- ・看板は既製品を活用
- ・ベニヤに紙を貼ってスタンド型に
- ・大きいと保管・持ち運びに困る。目立つ色にして畳1/4くらいのサイズで作ったらか。博物館にあるものは重い
- ・捨て看板は高くない。1枚1万円？
- ・駐車場は点在しているので案内看板を数多く立てるのは、難しい。歩行者用を駅・曲角に設置しては
- ・どこに看板を設置するか考えて、数を決めたい⇒看板ボーイズで検討



年間スケジュール

- ・事務局で予定をまとめてかわらばん発送時に同封、インスタ告知も活用
- ・市の広報に載せると草取りもたくさん募集できるのでは
- ⇒草取りは予定を立てるのが難しい
- ⇒グループLINEを作って送ればよい
- ・里山グループは予定が多いので大きな行事ごとに分けた方がわかりやすい
- ・お寺の行事も入れた総合的な年間スケジュールが共有できるといい
- ⇒事務局&運営チームで検討



間伐材プロジェクト

- ・かなな屑で消臭剤。本證寺積み木も
- ・間伐、安く請け負います！
- ・間伐材は半年乾かせばなんとかなる

Tシャツ・キーホルダー

- ・未来寺子屋でつくった本證寺マークで
- ・ハスを持った欄間の飛天をモチーフにしてTシャツやキーホルダーにしたら？色も鮮やかでキレイ！背中に天女とか？
- ・ハスの押し花でブローチ、キーホルダーを
- ・おそろいだと連帯感が生まれそう



⇒運営チームで案を検討





準備

- ・前日準備は 13 時から。店舗の位置を示す紙と看板の設置
- ・当日はマラソン大会の開会式、準備体操が終わった 9 時半から車が入ってテントを立てることができる。それまでは入れない
- ・前日に搬入できるものは、本堂奥に置いておいても OK
- ・スタッフ及び出店者の駐車場は庫裏の前も OK

駐車場

- ・駐輪場は、経蔵の横に（工事中なのであいだを通過）
- ・身障者用の駐車場はこれまで特に設けてない。今後の課題
- ・駐車場問題。歩いてきてくれた人には特典があるといいかも

看板・案内

- ・門にも「きょうえんいち」の看板を！
- ・コロナ対策についての立て看板もあるといい
- ・バルーンで「今日やってます！」の宣伝を
- 桜井風保存会に風を揚げてもらってもいいかも？

会場設営

- ・マラソンの主催者が用意してくれる椅子は 12 時くらいにランナーが戻ってくるまで使って OK
- ・ゴミ箱は各店舗の人が用意したものだけに

体験コーナー

- ・今回は糸かけ曼荼羅の体験をしていただく。ワークは楽しいので今後も入れていくといい。法要の時、花びらを模したものを蒔く＝散華をみんなでつくったりしても、お寺ならではの良いのでは

出店料～運営

- ・出店料は、売上の〇%でなく、定額にした方がいいかも
- 今回は無料。飲み物を事務局専売にしたり、寄付や広告料を集めるなど、今後運営費を稼ぐ方法を考えないといけない
- 早いうちに決められるといい
- ・三河別院の出店料は 3×3m で 1500 円。フェスティバルの時に出店料は取っていない。仏教に触れていただいて喜んでいただけたらいいという考え。報恩講ではお非時（ひじ）を 150 食くらい出す。これは寄付の力でやっている。昔の報恩講は 1 週間行われて、露店が出ていた。それがすごく楽しみだったという 90 歳くらいのおじいちゃんがいる。やって楽しかったというものが孫の代まで伝わるような、そういうものを目指してやっていきたい
- ・マルシェの運営をやりたいというお母さんの団体から問い合わせがあった。長く続けていくためには、スタッフも含めてみんなが楽しんでやっていかないと…。そのためにも幅広い周知が大事なかなと思う



未来寺子屋⑤ 12/12（土）あさ9:30～12:00
「つながっている世界 お寺で SDGs カードゲーム」

SDGs ってなに？なぜ今、SDGs が必要？どうしてこんなに注目を集めているの？
SDGs の本質を、本證寺の魅力的な空間の中で、楽しいゲーム体験から学べます。

**先着30名
事前申込制**

**安城市教育委員会
文化振興課（歴史博物館内）**
☎ 0566-77-4477
✉ bunkazai@city.anjo.lg.jp